

令和4年度 稲沢市地域自立支援協議会 第1回就労支援部会 議事要旨

[日 時] 令和4年5月17日(火) 午後2時～午後3時

[場 所] 稲沢市役所 第1分庁舎 2階 第3会議室

[出席者] 就労支援部会委員8人、事務局3人

[欠席者] なし

あいさつ(事務局、部会長)

新委員から自己紹介あり。

[議 事]

1 協議事項

(1) 今年度の活動について

- ・今年度の活動案について、事務局から説明

部会長 見学会を続けていくかどうか、とりあげるかどうか。就労を支援することなので、企業の支援か、当事者支援か、どちらも含むと思うが、その観点から見学会のあり方をどうしていくか。別のことをやってみたいということならそれも検討したい。1日だけの見学会だと都合が合わない人が来られない。うちの会社は期間をもうけて受け入れができる。今までのように色々紹介して説明とはならないかもしれないが、見学を別にすることで参加しやすいものになると思い提案した。

委員 A 同じ企業として、提案された期間の中で、見学したいけどいけない企業もあったとすれば、弊社も1年間というわけにはいかないが、やることに問題ないと思う。事務局でとりまとめてもらい、1社でもはじめて雇用する企業が見てみたいと希望されれば、今までも説明した経緯もあるので、ぜひ受け入れたい。

部会長 過去に見学した企業も打診してみて可能なら協力してもらいたい。可能性が広がると思う。開放期間を設けて受け入れるということで進めてよいか。

委員 B 開放期間は必ずしも長なくて良いが、支援者としては年間通じて数か月に1度くらいのスパンで計画されていると、お困りの企業があったときに次を案内できる。複数企業が協力していただけると他の企業にとってもいい。回数はわからないが、年間4回くらいに分けてはどうかと思う。

部会長 いつも見学会は11月か12月にしていたが、雇用強化月間が9月なのでそのあとでもよい。例年と同じ期間で何日か設けることで進めていいか。どれだけの企業が参加していただけるかということも含めてまた打合せしたい。ステップ別の見学会について、障害別と雇用継続企業向けの提案があるが知りたいニーズはあるか。

委員 B 雇用継続企業のニーズはとても多い、常にある。新規の企業の相談は時々あるという印象。

部会長 これを進めるために部会で関わり方はどうか。セミナー開催なのか、支援学校はどうか。

委員 C 先日同窓会をしたが、保護者合わせると 200 人近くあり 2 部制にした。校内に入  
っていただくのはかなり少人数でないともまだ難しい。会場に自分が出向いて企業  
に説明するという形ならできる。

部会長 企業見学でも見学の前後に説明がないといけない。そういうときに支援学校や福  
祉関係からの説明がついていくことは可能か。

委員 C 可能である。

部会長 そこにハローワークを絡めて話があるとよいか。初めて雇用する企業向けと見学、  
雇用継続企業向けと見学を何日か日時設定して案内すればよいか。でも世間の流  
れで障害者雇用は必須なので、動員してやっていきたいと思う。雇用月間の後の 11  
月か 12 月で何日か設けていく、協力企業を募る。その企業を決めて具体的に計画  
を立てるのはいつ頃になるか。

委員 D 今の流れで少し気になった。ここにいる委員は障害者雇用について知識的にも一  
般企業より進んでいる前提だが、自分の周囲では SDGs やカーボンニュートラル  
ということが一斉に走り出し、そちらへの企業の対応力は伝わるが、障害者雇用は  
どうかと感じている。企業が雇用することを義務として感じてやるのではなく、自  
分もこの会議に参加するようになり雇用はこんなに色々な助成や支援があるとい  
うのを知った。企業に対して大前提は、義務があるのをしているか、次に手厚い  
支援、ハローワークもたくさんあるがそれを伝えること。見学も必要だが、企業規  
模に関係なく意識が低いという現状に立ち、手立てをしていくことが 1 年の事業  
で必要ではないかと感じた。見学会には異議なく賛成だが、その中でエッセンスを  
意識してどんどん伝えていくことはどうか。企業は結局、経済界の代表として発言  
するなら、やはり儲けていくことが大事でその中に社会貢献がある。

部会長 障害者雇用について理解しているが、避けて通りたいという人もある。雇用のメリ  
ットという言い方は好きではないが情報として出した方がいいと思う。助成金に  
ついてはどう活用して雇用につなげるかあってもよい。

委員 D 商工観光課ではキャンペーンをしているが、周知とか現状把握をしているので商  
工会議所も参加している。

委員 E 雇用促進キャンペーンは年 1 回しているが、雇用促進月間の 9 月にしている。ハ  
ローワークと市内の事業所で未達のところ 5 社程度回っている。未達のところな  
ので、雇用したことがないところや、過去にしていたところがほとんど。雇用してく  
ださいと言いに行くが、一緒に回るのできっかけとして助成についても説明し、企  
業の現状を聞いて促進につなげる。過去には回った後につながった実績も 5 社回  
って 1, 2 社はある。きっかけ作りが大切だと思う。今年は 3 年ぶりに実施する予  
定。キャンペーン月間で反応がないことはない。いつでもハローワークに相談とい  
うことにしている。実績はある。

部会長 商工会議所のセミナーに絡めて障害者雇用のセミナーは可能か。

委員 D 可能である。ただ企画を持ち込まれるときに、最終的な集客、2,100 社に案内したが、参加者 0 ということではいけない。チラシのつくりや参加したいという気持ちにさせるものが必要。商工会議所のテーマではないということはない。

部会長 そういうものも入れていくか。SDGs の 17 項目に入っており、関心がある。

委員 D よいと思う。

部会長 誰もが幸せに働ける回にしてはどうか。

委員 D 企業は SDGs にとても関心があり、雇用だけでなく取り組みをしている。

事務局 バラバラでやるより連携が大切だと思う。雇用キャンペーンの話もあるが、行くときに見学会のチラシを持参して連携してもらおう。啓発は一丸でやることが大事だと思う。ハローワークの助成については事務局でも勉強して普及啓発と見学会を絡めてやりたいと思う。

部会長 いろいろ交通整理をしてもらいたい。部会としては開催するということで進める。

事務局 課題把握の部分で補足として当事者向けアンケートについて説明したい。今年度と来年度、2 年間かけて令和 6 年から 11 年までの市の障害福祉施策の基礎となる障害者計画を策定する。前回の概要版を配布した。今年の夏ごろに、当事者含む市民、数千人にアンケートを実施予定。当事者の思いを調査したい。部会で、就労に関して当事者へどういう質問をすれば良いかご意見を聞きたい。後日、調査用紙を送付するので、協力していただきたい。直近のアンケートでは、就労している方の勤務形態や、今後、収入を得る仕事をしたいか、職業訓練を受けたいか、就労支援の希望について挙がっている。意識として大きいのは就労意向のところで、仕事をしたい希望は約 7 割で、このうち仕事をしたいができない方は約 4 割。

部会長 部会でも参考にしていきたい。福祉まつりには参加できるか。

事務局 ブースがあればできるが、今年度の内容がまだ分からない。

## 2 その他

### (1) 就労支援事業所連絡会について

部会長 就労継続支援 B 型の一つで動画編集があるが、何をしているか。

事務局 不動産の物件の情報等をデータ作成していると聞いている。

部会長 特別支援学校卒業生の状況についてどうか。

委員 C 39 名中 7 名が B 型や生活介護の事業所へ、3 名が A 型事業所へ進んだ。以前の子どもに比べると、障害が重度化している。今年の 3 年生は 51 人中 11 人が企業で実習をする予定。その他の子は福祉事業所で実習をする予定。今年の 3 年生は、コロナの影響を一番受けている。連絡会の会議報告にあるように物流の求人が増えている。戦争の影響を受けて製造業は厳しいところがある。

委員 E 市内で就労移行をしているが、名古屋市西区の事業所でフードバンクの取り組みを始めた。